

報道関係各位  
プレスリリース

平成28年5月20日発信  
千代田区立日比谷図書文化館

## 人を育て、勝つための組織づくり（全3回） 第2回 ソフトボールの母として / 第3回 闘う心を緩めない



宇津木 妙子



吉原 知子

人生を自分らしく歩みながら、より味わい深いものとするために、教育、文化、スポーツなどをテーマに、各界でご活躍の方から様々な視点で話していただく講座です。毎年夏季にはアスリートの方をお招きし、辛い練習や挫折を克服し、スポーツの世界を勝ち抜く方法などについて話していただいています。

本年は、「人を育て、勝つための組織づくり」と題し、過酷なスポーツの世界で数々の栄光をつかんできた名将から、選手の力を発揮するための指導法や強いチームづくりについて学ぶ講座を行います。

第1回（5月24日）7人制ラグビーの監督の吉田義人氏に引き続き、第2回はソフトボールの中興の祖と言われる宇津木妙子氏より、オリンピックでメダルに導いた秘策を、第3回は実力も人気も低迷していた日本女子バレーを見事に蘇らせたプロバレーボール監督の吉原知子氏より、勝利への導き方を、それぞれジャーナリストの吉井妙子氏との対談形式でお話いただきます。（主催：公益財団法人上廣倫理財団）

## 講師

### ■ 第2回 宇津木 妙子 (NPO 法人ソフトボール・ドリーム理事長)

中学校1年時からソフトボールを始め、1974年世界選手権出場。現役引退後はジュニア日本代表コーチを経て1997年に日本代表監督に就任、2000年シドニー五輪銀メダル、2004年アテネ五輪銅メダルを獲得した後、同年9月日本代表監督退を退任。その功績が讃えられ、日本人初、指導者としてのISF（国際ソフトボール連盟）の殿堂入りを果たした。2011年にNPO法人ソフトボール・ドリームを設立。

### ■ 第3回 吉原 知子 (プロバレーボール監督)

日本人初のプロバレーボール選手として海外リーグでのプレー経験を持ち、国内で所属した全てのチームで優勝したことから「優勝請負人」と呼ばれた。アテネ五輪世界最終予選では主将に抜擢され、精神的支柱としてチームを牽引、途切れた五輪出場の歴史を復活させた。引退後はVリーグ初の女性理事に就任。2015年にV・チャレンジリーグJTマーヴェラス監督に就任、1年目でチャレンジリーグを制し、来シーズンよりプレミアリーグに参戦。

### ■ 第2・3回 吉井 妙子 (ジャーナリスト)

1991年、13年勤務した朝日新聞社を退社し、スポーツジャーナリストとして独立。『帰らざる季節―中嶋悟F1五年目の真実』(文藝春秋)で93年度ミスノスポーツライター賞を受賞。現在、ジャンルを問わず人物ノンフィクションを手がける。著書に『神の肉体 清水宏保』(新潮社)、『天才は親が作る』(文春文庫)、他多数。

## 開催概要

● 第2回 2016年6月13日(月)

● 第3回 2016年7月28日(木)

### 各回共通

- 時間：18:30～20:00(18:00開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)
- 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて
  - ① 講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。